

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-137	A-142	23-088 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Prevalence and change in alcohol consumption in older adults over time, assessed with self-report and Phosphatidylethanol 16:0/18:1 -The HUNT Study</p> <p>自己申告およびホスファチジルエタノール 16:0/18:1-HUNT 試験により評価した高齢者における飲酒の経時的な有病率および変化</p>		
<b>執筆者</b>		
Tevik K, Skråstad RB, Benth JS, Selbæk G, Bergh S, Eldholm RS, Krokstad S, Helvik AS.		
<b>掲載誌</b>		
PLoS One. 2024 May 31;19(5):e0304714. doi: 10.1371/journal.pone.0304714.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
高齢者、飲酒パターン、ホスファチジルエタノール、経時変化		38820445
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的:</b> ノルウェーの高齢者(65歳以上)における飲酒パターンの有病率と経時的変化を、自己申告とホスファチジルエタノール(PEth)測定により調査した。</p> <p><b>方法:</b> 1995-2019年 HUNT 調査データを使用し、HUNT2(1995-97年)、HUNT3(2006-08年)、HUNT4(2017-19年)の3回の調査で、それぞれ14,090人、11,903人、17,124人の65歳以上の参加者を対象とした。自己申告による飲酒頻度・量とPEth濃度で層別した。</p> <p><b>結果:</b> 自己申告による生涯禁酒率は24年間で30.9%から5.2%に減少した。一方、頻繁な飲酒(週4回以上)は1.2%から4.4%に、危険な飲酒(週8単位以上)は1.1%から5.6%に増加した。PEth濃度0.06<math>\mu</math>mol/L超の割合もHUNT3の18.6%からHUNT4の21.2%に増加した。男性は女性より飲酒率が高かったが、性差は縮小傾向にあった。HUNT4では、女性と男性の75歳以上でPEth&gt;0.30<math>\mu</math>mol/lの割合が同程度であった。70-74歳または75歳以上の年齢層ではPEth濃度の性別差は縮小した。</p> <p><b>結論:</b> ノルウェーの高齢者の飲酒量は24年間で増加したが、近年その傾向は鈍化している。健康的な高齢化を促進するため、医療従事者、保健当局ならびに一般市民は、高齢者の飲酒状況や変化に気を付けるべきである。</p>		